

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度	令和元年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	市民・大学交流センター(ユニコムプラザさがみはら)
指定管理者名	公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民・大学交流センター条例
施設の設置目的	市民と大学等との連携により、地域の課題の解決及び地域の活性化を図る (相模原市立市民・大学交流センター条例第2条)
施設概要	・所在地 南区相模大野3丁目3番2 - 301号 ・床面積 2,965.82㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 ・施設 セミナールーム1・2、実習室1・2、ミーティングルーム1・2・3・4・5 マルチスペース、AVスタジオ、シェアードオフィス1・2・3、 大学情報コーナー、地域情報コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	185,025	178,206	163,450	-	-		
利用料金合計(円)	30,236,670	30,510,633	27,024,032	-	-		

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>・指標1の達成度については、93.4%となっている。利用率は年々上昇しているものの、一部の施設は改善の余地がある。施設の特성에応じた工夫や見直し等を図り、さらなる利用率の向上のための取組を期待する。</p> <p>・指標2の達成度については、シェアードオフィス51.0%、大学情報コーナー106.7%、地域情報コーナー102.1%となっている。3施設の平均値は86.6%と前年度より0.2ポイント上昇しており、引き続き、利用率向上のための取組を期待する。特にシェアードオフィスについては、関係機関と連携するなど新規利用者の獲得に努めてもらいたい。なお、大学情報コーナーについてはスペースの活用により利用率を増やしていることは評価できる。地域情報コーナーと合わせて、引き続きレイアウトを工夫しスペースの活用を図らねたい。</p> <p>・指標3の橋渡しは、30件を見込み26件(4件は休館により延期)と達成度は100%と高くなっている。市民と大学のニーズ・シーズの情報等を活用し、様々な機会を捉えて、市民と大学が連携を深め、課題を共有し、地域課題の解決や地域の活性化に取り組んだ結果であり、評価できる。</p> <p>・指標4(1)はまちづくりモデル事業として実施回数5回、達成率125%であり評価できる。(2)は令和2年度からの評価となり、ハードルは高いが、(1)の取組みを確実に(2)に結びつけてもらいたい。</p> <p>・指標1、2(1)は目標値に達していないことから引き続き取組を強化されたい。ただし、施設の設置目的の達成に直接的に関係する成果指標3、4は目標値に達していること、有料施設の利用率も増加傾向であることを考慮し、当項目の評価は「A」とする。</p>

指標 1							
指標名(単位)	【指標1】有料施設の利用率(シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーを除く)(%)						
指標式と指標の説明	指標式: 有料施設の利用コマ数 / 有料施設の利用可能コマ数×100 有料施設の利用率を指標とすることで、施設の活用を図るとともに、施設利用者への施設の設置目的の認知度向上を推進するもの。						
項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	75.0	80.0	82.0	84.0	85.0		
実績値(%)	69.1	75.8	76.6				
達成度(%)	92.1%	94.8%	93.4%	0.0%	0.0%		

指標 2 (1)							
指標名(単位)	【指標2(1)】有料施設の利用率(シェアードオフィス)(%)						
指標式と指標の説明	指標式: 利用日数 / 利用可能日数×100 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。						

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	75.0	80.0	82.0	84.0	85.0		
実績値(%)	50.8	43.8	41.8				
達成度(%)	67.7%	54.8%	51.0%	0.0%	0.0%		

指標 2 (2)							
指標名(単位)	【指標2(2)】有料施設の利用率(大学情報コーナー)(%)						
指標式と指標の説明	指標式: 利用日数 / 利用可能日数×100 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。						

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
実績値(%)	100.0	93.3	106.7				
達成度(%)	100.0%	93.3%	106.7%	0.0%	0.0%		

指標 2 (3)							
指標名(単位)	【指標2(3)】有料施設の利用率(地域情報コーナー)(%)						
指標式と指標の説明	指標式: 利用日数 / 利用可能日数×100 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。						

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(%)	75.0	80.0	82.0	84.0	85.0		
実績値(%)	47.7	88.9	83.7				
達成度(%)	63.6%	111.1%	102.1%	0.0%	0.0%		

指標3	
指標名(単位)	【指標3】地域活動や市民活動を行う市民と大学との橋渡し件数(件)
指標式と指標の説明	市民(市内で活動する個人、団体、NPO、企業等)と大学が連携して、地域の課題解決や活性化を 実行するための助言や企画提案等を行った件数を指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(件)	20	25	26	26	26		
実績値(件)	20	26	26				
達成度(%)	100.0%	104.0%	100.0%	0.0%	0.0%		

指標4(1)	
指標名(単位)	【指標4(1)】「地域づくりプロジェクト」の対話の実施回数(回)
指標式と指標の説明	「市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供 する業務」の成果を測る指標の1つ目として設定することで、センターの設置目的の達成を図るもの。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(回)	-	-	4	4	4		
実績値(回)	-	-	5				
達成度(%)	-	-	125.0%	0.0%	0.0%		

指標4(2)	
指標名(単位)	【指標4(2)】着手した地域づくりプロジェクトの本数(本)(令和2年度から評価)
指標式と指標の説明	「市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供 する業務」の成果を測る指標の2つ目として設定することで、センターの設置目的の達成を図るもの。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(本)	-	-	-	4	5		
実績値(本)	-	-	-				
達成度(%)	-	-	-	0.0%	0.0%		

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>・施設の設置目的である、大学との連携を示すバロメーターとしての減免、団体登録、橋渡し、学生会員登録数は着実に増えており、事業の実施目的に応じた成果を達成している。</p> <p>・大学との連携に直接的に効果がある、市民・大学交流会、まちづくりモデル事業を着実に実行している。</p> <p>・ホームページのリニューアル、学生利用の多いSNSによる周知方法の工夫、フリースペースの活用、オーサズカフェの開催、他団体との連携により施設の活性化に寄与している。</p> <p>・こうしたことから評価は「A」とする。なお、さがみはら地域づくり大学について、指定管理事業としての運営は計画通り実施できているが、協働に携わる人材の育成は本市に限らず課題とされており、現状は定員に対する受講者、修了者の数が伸び悩んでいることから、外部の有識者等により構成される運営委員会の意見を基に見直しを図られたい。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
利用の承認等に関する業務 事業計画書2(1～8)	通年	センター施設の利用承認・利用期間更新・承認の取消と利用料金の徴収・減免・還付、団体の登録・取消に関する業務について、特に、学生の地域活動スタートアップ事業に伴う減免(655件)、大学との連携に伴う減免(33件)、大学との連携や事業参加に伴う団体登録数の増加(30～37団体)があった。	
大学の研究教育活動や地域連携の取組等の情報を発信する業務 事業計画書3(1～4)	通年	大学・地域情報コーナーの運営、情報誌(月刊誌)の発行、専用ホームページの運営、LINE・Twitter・Facebookなど学生利用の多いSNSの活用を行っている。特に、情報コーナーは令和2年度に向けて1校、1団体の誘致、専用ホームページのリニューアルがあった。また、橋渡しの業務を利用者に窓口にて分かりやすく説明するためにガイドブックを作成している。 大学・地域情報コーナーの利用率については【指標2(2)】、【指標2(3)】で評価Aとなっている。	
地域活動や市民活動を行う市民と大学との橋渡しをする業務 事業計画書4(1～2)	通年	市民・大学のニーズ調査、ニーズのマップ化、市民と大学の連携(橋渡し)を行っている。特に、橋渡しは、30件を見込み26件を達成(4件は休館により延期)しており、【指標3】は評価が「A」となっている。	
さがみはら地域づくり大学の運営等に関する業務 事業計画書5(1～10)	6月～12月	協働の観点での地域活動及び市民活動を促進するために必要な知識や技術を体系的に学ぶことのできる場として設置し、市民がまちづくりに主体的に参加し、地域社会の活性化に資することを目的とする。 【基礎コース:5講座、応用コース:5講座、専門講座:5講座】 【コース受講者17人(基礎コース10人、応用コース7人)、コース修了者7人、コーディネータズサークル登録者4人】 指定管理事業としての運営は計画通り実施できているが、コースの定員が各20人の計40人のところ、受講者数が17人と数が伸び悩んでいる点に課題があることから評価を「 」とする。	

センターの利用の促進に係る業務 事業計画書6(1~4)	通年	施設予約管理システムの運用、フリースペースの活用、公衆無線LANサービスの提供、施設及び事業の広報・PRについて、特に、ロビーにて月替わりで大学・高校等の作品展を開催した。また、ニュースリリースを8回発行した。	
市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供する業務 事業計画書7(1~5)	通年	市民・大学交流会を6回開催した。当初予定していたユニコムサミットは感染拡大防止による休所のため、また、まちづくりフェスタは荒天のため中止となったがやむを得ない事由として評価には考慮しないこととする。 施設の目的に直結するまちづくりモデル事業は、継続団体5、新規企画団体5、計10団体が活動しており、【指標4(1)】が評価Sとなっている。新規のみならず、継続団体へも平行して発展を図る取組を評価し、当項目の評価は「 」とする。	
施設の集客や知名度の向上を図り、施設の活性化を推進する業務 事業計画書8(1~2)	通年	オーサズカフェの開催、アートイベントの開催について、オーサズカフェは21回開催、参加782人(3回は荒天と休館で中止)、アートイベントは休館により中止となった。	
市民サービス水準の確保及び向上 事業計画書9	通年	利用者満足度調査の実施と結果からの改善、学生の利用増加を図る事業を実施した。	
団体独自の発想に基づく事業 事業計画書10(1~2)	通年	学生の地域活動スタートアップ事業、学生インターンシップを実施している。 「学生の地域活動スタートアップ事業」として地元の学生登録会員98人に対して興味のある活動分野を把握し、メールマガジンやSNSを活用して必要な情報を提供し、学生の施設活用、活動参加を図っている。 学生インターンシップについて、前期はイベント企画で4人、後期は窓口体験で2人を受け入れている。 施設の設置目的に即した学生に対する取組を評価し、当項目の評価は「 」とする。	
地域や他団体との連携、地域活動に関する業務 事業計画書11(1~4)	通年	地域団体、他施設、地元行政、商用施設との連携について、特に、さがみはら市民活動サポートセンターとの連携、相模原市南区役所との連携、ポーノ相模大野との連携が顕著であった。	

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
なし			

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<p>・達成度が106.7%のため「A」と評価する。実施内容に対する懸案事項が事前に協議・改善されており、実態に近い結果が得られたといえる。施設運営への理解が得られている一方、新たな課題も把握し、調査結果を速やかに報告・公開したことを評価する。</p> <p>・不満と回答された約3%は自由意見等により要因を把握し改善するなど、今後の運営に役立てていただきたい。</p>

利用者満足度調査											
調査手法/サンプル数	各部屋及び窓口アンケート用紙を設置し、利用終了後に施設の入口横に設置した回収箱または窓口にて回収。										
目標値の基準	<p>一般利用者の施設に対するの満足度、利用者の性別、年齢、住まい、利用頻度、利用目的及び利用頻度などを調査した。</p> <p>また、施設の設置目的を踏まえた事業内容の満足度を今回から追加した。</p> <p>目標値は、次の10項目について、「やや満足」以上の評価平均が90%以上であることとした。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">利用のしやすさ</td> <td style="width: 50%;">地域づくり大学</td> </tr> <tr> <td>設備や備品について</td> <td>まちづくりフェスタ</td> </tr> <tr> <td>職員の利用者への接し方</td> <td>まちづくりモデル事業</td> </tr> <tr> <td>オーサースカフェ</td> <td>橋渡し・相談事業</td> </tr> <tr> <td>市民・大学交流会</td> <td>総合的な満足度</td> </tr> </table>	利用のしやすさ	地域づくり大学	設備や備品について	まちづくりフェスタ	職員の利用者への接し方	まちづくりモデル事業	オーサースカフェ	橋渡し・相談事業	市民・大学交流会	総合的な満足度
利用のしやすさ	地域づくり大学										
設備や備品について	まちづくりフェスタ										
職員の利用者への接し方	まちづくりモデル事業										
オーサースカフェ	橋渡し・相談事業										
市民・大学交流会	総合的な満足度										

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0		
実績値（%）	86.6	84.3	96.0				
達成度（%）	96.2%	93.7%	106.7%	0.0%	0.0%		

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
実施要領の見直し	令和元年12月	前回のモニタリングからのコメントを踏まえて、施設の設置目的を踏まえた事業内容の満足度を追加することとした。 また、サンプル数を増加(300→1000件)することとした。
目標数値の設定	令和元年12月	前回のモニタリングから、目標数値が高過ぎるのではないかとコメントを踏まえて、目標を下げる考え方もあったが、市民の高い期待に応えるべく、据え置くこととした。 一方、集計方法に不備が見られたため「わからない」を分母から除くこととした。
アンケートの回収	令和2年1月～2月	曜日・時間帯を問わず、全ての利用者にアンケートの趣旨を説明し、手渡して記入を依頼した。また、イベント参加者にも同様の説明を行い回収に努めた。
利用者意見への対応	令和2年3月	アンケートでの利用者からの要望について、以下の2点を改善した。 ・ミーティングルームへのハンガースタンドの設置 ・一時的な貸出しロッカーの設置
調査報告書の公開	令和2年7月	調査報告ならびに結果(データ)を施設ホームページで公開するとともに、記者クラブ向けにニュースリリースを発行し情報提供を行った。

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	<ul style="list-style-type: none"> ・本体事業収支、全体収支について、施設休館、利用料還付の影響もあり決算において支出が収入を上回っている。 ・法人の正味資産は約901万円（前年度比約197万円の増額）となっており、公益社団法人の財務状況として特段の課題はなく、適正な状況と評価できる。引き続き公益社団法人として、適正な範囲での収益を確保するよう努めてほしい。 ・事業収支、全体収支としては赤字のため加点なし、法人の財務状況としては特段の課題はないため加点10点とする。計10点として評価基準に基づいて「B」の評価とする。

施設の収支概要		直近3年間について記載		
		（千円）		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入（a）		70,928	71,378	72,472
	指定管理料	37,661	37,661	42,552
	利用料金収入	32,520	33,070	29,141
	その他の収入	747	647	779
支出（b）		69,442	71,326	73,098
	人件費	38,042	40,110	40,807
	本社管理経費	2,128	2,128	2,434
	その他の支出	29,272	29,088	29,857
本体事業収支【(a)-(b)】(c)		1,486	52	-626
自主事業収入（d）		0	0	0
自主事業支出（e）		0	0	0
自主事業収支【(d)-(e)】(f)		0	0	0
全体収支【(c)+(f)】		1,486	52	-626
備考	<p>(a) 収入の主な変動は、指定管理料の増額と休館に伴う利用料金収入の減額により1.5%増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料の見直しにより、人件費、サーバー導入費など前年度比13%増 ・利用料金収入は休館に伴う減額により12%減 ・その他の収入は、休館に伴うコピー機収入減、自販機電気料金収入増により20.4%増 <p>(b) 支出の主な変動は、人件費ならびに本社管理経費の増額により2.5%増</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費は嘱託職員の増加により1.7%増 ・本社管理経費の見直しにより14.4%増 ・その他の支出でサーバー導入費、ホームページ制作費にかかるも他の科目で相殺 <p>(c)(d) 収支は、休館に伴う利用料収入の減額により約60万円の赤字となっている。なお市による2,3月分の損失補償約270万円を含んでおらず、換算すると約210万円の黒字であった。</p>			
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年10月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 指定管理者の自己評価

- ・指定管理第三期の1年目(通算8年目)を終了し、全般的には、設置目的の達成に向けて多様な取組みが加速しており、良好であると評価する。
- ・「施設利用」から「橋渡し」に、「橋渡し」から「まちづくりモデル事業」に、さらに「まちづくりプロジェクト」へ流れができています。また、「学生の地域活動スタートアップ事業」から「学生を主体とした事業」へステップアップする下地も整った。「地域づくり大学」も見直しを検討しており、今後はこれらをどう有機的に結びつけるかがポイントとなる。
- ・施設管理、事業運営に必要なノウハウとネットワークが蓄積できており、人材と合わせて大きな財産となっている。今後も限られた資源の中で最大の成果を出せるようマネジメントしていく。
- ・休館に伴う利用者収入減はあったものの、公益社団法人の財務状況として特段の課題はなく、引き続き適正な運用に努める。

9 所管課意見

- ・令和元年度の指定管理業務は昨年に続き概ね良好である。施設の設置目的の達成に向けて、職員総員で橋渡しに関する相談業務に取り組んでいる点を評価する。
- ・利用者満足度調査における総合的な満足度は98.7%と高くなっており、市民や利用者により好意的に受け入れられているといえる。
- ・利用率は増加傾向にあるものの、利用者数は前年度に続き減となっていることから各施設の特性に合わせた取組を期待する。
- ・施設の設置目的につながる橋渡し件数は目標値に達し、まちづくりモデル事業の実施回数が目標値を上回っていることは評価できる。また、学生の地域活動スタートアップ事業等、学生の施設活用や活動参加につながる取組と合わせ、学生の主体的な活動への発展に期待したい。

10 選考委員会意見

- ・全般的には、施設の設置目的の達成に向けて多様な取組を実施しており、良好であると評価できる。
- ・施設の利用率については、利用の伸びている大学情報コーナー、地域情報コーナーについて評価ができる。一方、利用が伸び悩んでいるシェアードオフィスの利用については、他主体との連携など具体的な策をもって一層の工夫を図らねばならない。
- ・ホームページの一新や橋渡しガイドブックの作成等により、施設の業務・取組の周知が昨年より改善されており評価ができる。
- ・利用者満足度調査については、昨年の意見に基づいた調査項目の再検討と、調査件数の増加など改善された上で、目標も達成できており評価ができる。
- ・人員体制については、引き続きマネジメント体制の更なる向上を図り、負担軽減やまちづくりプロジェクトに向けた渉外に取り組まねばならない。
- ・経営状況については、新型コロナウイルス感染拡大の影響に留意しつつ、引き続き適正な運営に努めていただきたい。

総合評価(自動判定)

